

◆訪問介護ナイス・ケア◆小規模多機能型居宅介護ナイス・ホーム◆住宅型有料老人ホーム愛宕の家◆有料職業紹介つしま紹介所◆暮らしサポートサポート・ワン◆学童・託児ナイス・キッズ◆喫茶てのひら◆鍼灸てのひら治療院 ◆酸素BOX



vol. 282通信
R6年2月7日発行

発行元：株式会社サポート・ワン・サービス
愛知県津島市愛宕町四丁目 113 〒496-0036
代表TEL：(0567) 26-3921
FAX：(0567) 26-3922



ホームページ URL <http://www.s-o-s.co.jp>

問合わせ・見学 大歓迎！！
《利用状況案内板 (☆募集中★満員)》
 ☆ナイス・ケア / 訪問介護※介護保険
 ★ナイス・ホーム / 小多機能介護※介護保険)
 ・定員18名 : 現在登録者18名
 ☆愛宕の家 / 住宅型有料老人ホーム
 ・定員17名 : 現在入居者 10人
 ☆つしま紹介所 / 有料職業紹介
 ☆サポート・ワン / 暮らしサポート
 ※自費負担の在宅サービスです



《3月行事予定》
 10日 外食DAY
 13日 運営推進会議
 (ナイス・ホーム)
 20日 避難訓練
 30日 感染訓練
 ※喫茶外出や外食DAY
 など、社会参加活動は
 場所や状況を踏まえて
 再開しています。

《営業お知らせ》
喫茶てのひら
 営業日：月・火・木・金・土・日 / 水曜定休
 時間：9:00-13:00
高気圧 ROOM 酸素 BOX
 営業日：月・火・木・金・土 / 水・日定休
 時間：9:00-17:00 完全予約制
鍼灸てのひら治療院
 営業日：月・金・土(第1・3) / 完全予約制
てのひらコース教室
 第1・3木曜日：14:30-16:00
 ↳参加者募集中♪
 ☆☆☆再開検討中☆☆☆
 ・打太鼓(和太鼓)
 ・ナイス・キッズ(学童・託児)
 ~詳細はお問い合わせ下さい~

災害の備え／愛宕の家
 年明け早々に能登で大きな地震が起き、この
 辺りでもかなり揺れを感じました。皆さんは大丈
 夫でしたか？
 愛宕の家では、毎月、感染訓練と避難訓練を
 しています。火事や大雨、地震、いろいろな想定
 をして行っています。
 先日、能登の地震のニュースをみながら、今、
 地震が来たら皆どうするか・・・と愛宕の家の入
 居者さんと話題になりました。「机の下に潜る。」
 「まあ、そのままの世へいくだわな。」など、言
 われることは様々です。
 現地の介護施設のニュースをみると、いざそ
 の時になったら、どういう行動をとれるのか、災
 害発生後の制約のある中で優先的に実施する
 べき業務が何かを考えられるのか等、不安は尽
 きません。
 だからこそ、避難訓練計画書やBCP マニユ
 アルができあがっていることを活かして、毎月の訓
 練を重ねていきたいと思えます。(K・T)

原点回帰することに決めました。

元旦、能登半島地震があった。アフターコロナでやっと自由に活動できると夢を描き始めた矢先に。
 いつどこで何が起きても不思議ではない。なるべく後悔しない生き方や考え方をしたい。そんな思いが強くなった。
 今年4月からはサポート・ワン・サービス(S・O・S)の庭や畑のリニューアルを考えている。愛宕の家の入居者さんや
 通所に来られる方の過ごし方を豊かに、そして、S・O・Sに勤務するスタッフや地域の方にも楽しんでもらえることを考え
 たい。そんな夢を思い描く中、現在の介護事業を営む上で「地域密着型制度」のもつ津島市在住の方に限定したサー
 ビス提供と定額制という枠組に窮屈さを感じるようになっていた。

平成6年、長期入院者に対する家政婦の病院付き添い廃止により、在宅ケアサービス事業を確立。平成10年には
 宅老所を立ち上げた。その後、介護保険制度が創設施行され、介護保険のサービス提供事業者としての現在に至る。
 「措置から介護保険制度」へ。時代が変化する中で「家族」の在り方、「介護」や「経済」に対する概念が大きく変化して
 きた。今改めて、これから先の福祉や介護サービスを生業とする私たちがどのような展望を描きたいかが問われている
 と思う。介護保険法は定期的に改正がある。この度の法改正に合わせて、弊社も今一度、法人の方向性を見直すこと
 にした。結果、地域密着の枠を取り払い、必要として下さる方に必要なサービスを提供できるようにしたいと考えた。介
 護保険制度が創設される前、地域密着型という枠が作られる前は、訪問と宅老所(通い・泊まり)を組み合わせたサー
 ビスを提供していた。宅老所という名称が今は住宅型有料老人ホームになっているが想いは何も変わっていない。

地域の枠を超えて、小規模多機能的なサービス提供ができる事業所としての原点回帰である。
 3月末日を以て、小規模多機能型居宅サービス事業所「ナイス・ホーム」は閉鎖とし、4月より、通常規模の通所介護
 「ナイス・デイ」をオープン予定です。訪問介護「ナイス・ケア」は障害サービスも提供可能な共生型に变革予定です。
 弊社のサービスをご利用下さっている利用者様・ご家族様、そして関係事業所の皆さま、今後ともご愛顧いただきま
 すようお願い申し上げます。 「困ったときはSOS」にご相談下さい！ 代表取締役 飯尾敦子

介護スタッフ、登録家政婦、看護師大募集♪



【お知らせ】
 ★愛宕の家
 家族懇談会(令和5年度第2回)
 日にち 令和6年3月17日(日)
 時間 14:00~15:00
 場所 喫茶てのひら
 ご家族、居宅支援事業所の方のご参加を
 お待ちしております。

【令和6年4月1日より】
 ★訪問介護ナイス・ケア特定事業所加算I取得
 ★障がい(訪問)サービス事業所開設予定
 ★通所介護ナイス・デイ(定員19名)開設予定

生活の場／ナイス・ケア
 私は愛宕の家で訪問介護に就く事が度々あり、
 入居者さんの様々な様子を目にします。
 食事が思うように口に運べない方がいると、
 側で声をかけられたり、手を添えて手伝って
 みえたり、スタッフに「あの人が助けたって」と伝えに
 来てくれたり・・・人と人の自然な助けいの行
 動や会話に直面し、暖かい気持ちになります。
 入居者さん同士、それぞれの役割(立ち位
 置?)のようなものがあるのかもしれない。
 そして、スタッフにも声をかけてくれます。朝は
 「おはよう」、帰宅時は「もう帰るの?」「明日も
 来る?」「気を付けてね」など、まるで家族を送り
 出すようにも感じられます。そんな入居者さんの
 様子に母の姿を思い浮かべながら、帰宅の途
 につき、また、翌日「おはよう」と始まります。
 自宅ではなく、入居施設への訪問介護に携
 わる事の意味、役割を日々思い描きながら、最
 期まで関わらせて頂ける事を嬉しく思います。
 (T・Y)

《編集後記》 3月末、ナイス・ホームの閉鎖が決ま
 りました。順次、居宅ケアマネさんへ引き継ぎとなりま
 すが、やはり、訪問と通所と泊り、そして緊急時の対応
 も含めたサービスの組み合わせを提案したいと考えてい
 ます。今後ともよろしくお願致します。(Y・O)

精一杯生きる人に寄り添う／看護師

Yさんは、出会って14年になります。在宅での生活を続けながら、小規模多機能ナイス・ホームを利用され、その後、転倒をきっかけに自宅で過ごすことが難しく
 なり、愛宕の家に入居されました。ここ数年、歩く距離や食べる量になみがあり、少しずつ弱っていました。それでも、息子さんが持ってきてくれる大好きなみ
 たらし団子をペロリと食べられ、自分の足で何とか歩こうとする姿をみて、ご家族と感心していたものです。ただ、それでも体力の低下は明らかでした。老化と共に穏
 やかに衰弱していく・・・そんな姿でした。そして、まさに息が止まるその時まで、穏やかに衰弱し、体のエネルギーをすべて出し尽くしたかのように、静かに息を引き取
 られました。

Kさん。本当に喜怒哀楽のはっきりされた方でした。寂しさと腹立たしい気持ちと頑固さ、優しさと・・・すべてをぶつけてくれた方でした。言い合いをしたり、優しさを
 もらったり。そんなKさんは、持病から免疫力の低下があり、体調を崩される度に、ヒヤヒヤしました。あつという間に褥瘡にもなるし、あつという間に肺炎にもなるし、
 気が抜けなかったKさんです。それでも、いつも復活してくれて、胸をなでおろしていました。年末から体調が不安定で、今回ばかりは回復は難しいだろうと思ひ、ご
 家族にも心配をおかけしました。体の変化や気持ちの変化、その変化を皆で共有し、環境を整え、先生とも共有し、できる介護看護は何か、求めている過ごし方は何
 か、寄り添ってきたつもりです。何よりの救いは、褥瘡や肺炎が起こることなく、大好きなおはぎやバニラカップを食べ、眠るように息を引き取られたことです。

それぞれ、精一杯生きる人に、精一杯できることをみつけながら、そこに寄り添うことができる。立場や職種を越え、人と人が、納得いく姿、時間を過ごす。そういっ
 た関わりで時間を共有できる場。サポート・ワン・サービスは、これからも、その人・その状況にあったサービスを常に提案しながら共に生きる法人でありたい。
 Yさん、Kさん、そしてご家族の皆様、長い間、本当にありがとうございました。YさんとKさんのご冥福をお祈りします。(M・T)

SOS通信はホームページへの掲載と合わせ、地域
 の関係者や事業所、ご家族様へも発送しています。
 2月 送部数 101部